

平成25年度特別展

葛城・広瀬の考古学

—古墳時代とその文化—



2013
9/28^{SAT} ⇒ 11/24^{SUN}

香芝市二上山博物館

Kashiba City Nijyosan Museum

平成25年度特別展

葛城・広瀬の考古学

—古墳時代とその文化—

●会期：平成25年9月28日(土)～同年11月24日(日)



画文帯神獸鏡(上牧町久渡3号墳出土)
写真提供:上牧町

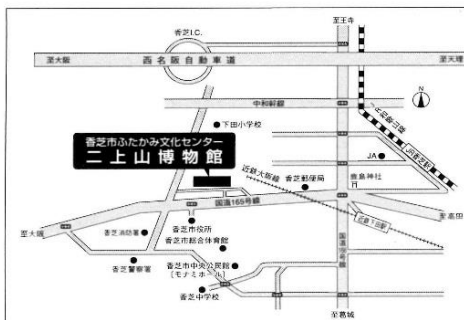
(表面写真:森和彦氏撮影)

二上山博物館

Kashiba City Nijyosan Museum

〒639-0243 奈良県香芝市藤山一丁目17番17号
香芝市文化施設 ふたかみ文化センター1階
TEL 0745-77-1700 FAX 0745-77-1601
E-mail nijyouzan@city.kashiba.lg.jp
HP <http://www.city.kashiba.lg.jp/life/shisetsu/hakubutsukan/>

■開館時間 午前9時から午後5時(入館は午後4時30分まで)
■休館日 毎週月曜日(ただし、10/14、11/4は開館し、それぞれ翌日が休館日となります。)
■観覧料 一般350円(250円)、高・大学生200円(150円)、小・中学生150円(100円)
*()内は20名以上の団体割引料金。



◀最寄り駅からの略図

■交通

(鉄道)

近鉄大阪線下田駅下車、西へ徒歩約8分。近鉄南大阪線二上山駅下車、東へ徒歩約20分。JR和歌山線香芝駅下車、西へ徒歩約12分。

(自動車)

西名阪自動車道柏原ICから国道165号線を東へ約6km、香芝ICから国道168号線を南へ約3km。南阪奈道路太子ICから府道703号線、国道165号線を東へ約5km。駐車場有(無料)。

香芝市は旧大和国葛下郡に属し、金剛・葛城山系の東裾にひろがる葛城地域の一角を占めています。この葛城地域は旧葛下・忍海・葛上・広瀬の四郡にまたがり、古代史を彩った葛城襲津彦をはじめとする葛城氏が活躍した地域です。

古代葛城氏の活躍と考古学的時代区分がオーバーラップするのは、古墳時代です。その古墳時代の出土遺物には、青銅の鏡や鍍金を施したきらめく馬具、あるいは威風堂々として立体的な各種埴輪群など、目を見張るような文物が豊富です。そこで、今回は古墳時代に限定して展示を計画しました。

特別展記念講演会

■葛城・広瀬の古墳時代 I

10月6日(日) 13:00~16:30

演題「古墳時代の竹内街道—交通路がもたらす地域への影響—」
講師 神庭 滋氏・葛城市歴史博物館 主査

演題「崇山古墳出土遺物の直弧文」
講師 井上義光氏・広陵町教育委員会 文化財保存課長

演題「天空を翔ける船」
講師 深澤芳樹氏
独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 客員研究員

■葛城・広瀬の古墳時代 II

10月20日(日) 13:00~16:30

演題「大和高田市の埋没古墳群～池田遺跡」
講師 前澤郁浩氏・大和高田市教育委員会生涯学習課 文化財係長

演題「葛城襲津彦の墓を考古学から考える」
講師 木許 守氏・御所市教育委員会文化財課 文化財係長

演題「古代葛城と前期古墳—久渡の画紋帯神獸鏡と鴨都波の三角縁神獸鏡—」
講師 小山田宏一氏・大阪府立狭山池博物館 学芸員

■葛城・広瀬の古墳時代 III

11月10日(日) 13:00~16:30

演題「馬見丘陵と川合大塚山古墳」
講師 吉村公男氏・河合町教育委員会生涯学習課 課長補佐

演題「後期古墳を解体する—北今市古墳群—」
講師 入倉徳裕氏・奈良県立橿原考古学研究所 総括研究員

演題「葛城氏と渡来系氏族」
講師 水谷千秋氏・堺女子短期大学 准教授

■葛城・広瀬の古墳時代 IV

11月23日(土・祝) 14:00~16:00

演題「葛城地域の遺跡と古代葛城氏」
講師 千賀 久氏・葛城市歴史博物館 館長
※ふたかみ史遊会第134回例会

会場 香芝市文化施設 ふたかみ文化センター1階・市民ホール
定員 先着300名(事前の申込みは不要です。)

※聴講には当日発行の二上山博物館特別観覧券が必要です。